

「一般財団法人」

設立元年の決意



柏崎市体育協会

会長 近藤 康信



新年おめでとございます。今年も皆で普段着の運動、仲間と楽しくスポーツ、健康で元氣溢れる日々を過ごしましょう。「体育の理想郷柏崎」を夢みて建設された大運動場（現陸上競技場）に人々が集い、競い、親しんで庶民体育や競技スポーツに輝かしい歴史を刻んで九十四年、今年もその歴史の象徴ともいえる85回元朝体操で柏崎の一年が始まりました。

時代の推移と共にスポーツへの社会的要求も変わり、スポーツ基本法では「スポーツは人々の生涯にわたり健康で文化的生活を営むに不可欠なもの、全ての人の『権利』である」と明記され、地域生活に根ざした「生涯スポーツの振興」が強調されています。

柏崎の体育は、先人の卓越した体育理念のもと、その歴史を通して一貫して官民一体の市民体育の健全な発達と、学社一体の優秀アスリートの育成を振興目的とし、いずれも立派な実績を収めてきました。今私達は改めて、先人の偉大な業績や協会運営を基盤に据えながらも、地域スポーツを底辺に、国際化した競技スポーツの強化、とりわけ東京五輪を視野に入れ強いアスリートの育成を重点施策とし、「伝統は守るより創れ」を合言葉に三十六加盟団体が連帯・協働の精神のもと心を一つに、その使命を果たす覚悟を新たにしています。

そして新年度、四月一日付「一般財団法人柏崎市体育協会」の誕生を迎えます。



『オリンピックを目指して』

加藤澤男教授

去る十一月八日（日）、柏崎市文化会館アルフォーレにて体操競技でオリンピック個人総合二連覇の加藤澤男教授を迎えて、市民スポーツ講演会が開催されました。小雨の中、児童生徒を含め大勢の市民の方々から聴講いただきました。加藤教授は五泉市の出身で、メキシコ、ミュンヘン、モントリオールの三大会に連続出場され、八個の金メダルを含めて計十二個のメダルを獲得されています。

講演の中では、これまでの近代オリンピックの歴史を時系列で紹介され、オリンピックの変遷について説明されました。また自身の獲得されたメダルを聴衆の皆さんにお見せ頂くとともに、過去に授与されたメダルのデザインや形状、材質等についても詳しく紹介され、金・銀・銅メダルの裏話を教えていただきました。そしてメダルとは「世界中の若者が目指しているエネルギーの象徴」ではないかと語られました。

柏崎市体育協会主催市民スポーツ講演会

去る十一月八日（日）、柏崎市文化会館アルフォーレにて体操競技でオリンピック個人総合二連覇の加藤澤男教授を迎えて、市民スポーツ講演会が開催されました。

次にオリンピックに参加した時の自身の試合を振り返って、一回目のメキシコはただ先輩に付いて行っただけだったこと、しかし二回目のミュンヘンは勝ちに行ったこと、三回目は負けて本場に悔しかったことを紹介されました。そして負けて二位の表彰の壇上から国旗掲揚で横を向いたとき、一位の人のお尻しか見えなかった時の悔しさが残って、しばらく気持ちの整理が出来なかったそうです。しかし、今まで自分が優勝した時の敗れた人の気持ちに気付く事ができて、やっと「敗れて良かった」と自覚されたそうです。他の人の気持ちになれる事はとても大切であると結ばれました。

最後に自身の経験から試合に臨む選手へのアドバイスが話されました。試合は誰でも緊張する。その緊張の中では練習の力の六割が出れば最高だと思ってほしい。だから練習が大切で、練習は試合よりも厳しいと思ってほしい。緊張を打開

祝 第20回！柏崎市・佐渡市バスケットボール交流交歓会

柏崎バスケットボール協会事務局

片桐 準

恒例となった柏崎市・佐渡市バスケットボール交流交歓会が十月十七日（土）、十八日（日）に佐渡市立南佐渡中学校と羽茂小学校を会場として開催されました。

本交流交歓会は、平成八年三月に旧小木町のミニバスチームを柏崎市にお迎えしたのを始まりに、その翌年十月には柏崎市のミニバスチームが旧小木町を訪問し、その後は一年ごとに旧小木町・柏崎市を交互に訪問しての交流が続いています。

今回は、記念すべき第二十回目の開催ということで、柏崎市から小学生チーム（男子・女子各一チーム）、中学生チーム（男子・女子各一チーム）、中学生チーム（男子・女子各一チーム）、女子ママさんチームを加え、スタッフ保護者を含め総勢八十六名が交流交歓会に参加しました。幸い天候に恵まれ、佐渡に向かう海上の旅も、高速カーフェリーあかねで快適

するのは練習しかない」と熱く語られました。そして、失敗したら、それを放つとかないて解決すること、次につなげる事が大切。だから失敗を怖がらないで良いとされました。

あつという間の一時間三十分でした。参加された聴衆に大きなインパクトを与えられてスポーツ講演会は終了しました。加藤教授本日に有難うございました。（広報部）



また、一日目の夜には参加者懇親会が行われ、約八十人が参加し、コートの外でも交流を深めました。

今回、佐渡市開催ということで、ご準備いただいた佐渡市の関係者の皆様および事業の趣旨をご理解いただき、当事業を補助してくださった柏崎市体育協会様には感謝と御礼を申し上げます。

次回の交流交歓会は、来年度、柏崎市での開催となりますが、この事業の目的であります青少年の健全育成を図りながら、更に継続してまいります。当協会事業へのご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



柏崎・小木町バスケットボール交流交歓会

メンタルトレーニング講演会

人はなぜ緊張するのか

「体から入る心のコントロール」
「心から入る心のコントロール」

メンタルトレーニング実行委員会主催のメンタルトレーニング講演会が、十一月三日、柏崎市総合体育館で開催されました。講師は柏崎市出身の関矢寛史氏（広島大学大学院総合科学研究科教授）。中学・高校の野球選手、保護者など百四十人が参加しました。

内容は、一、人間はなぜ感情をもつのか？ 二、リラクゼーションとサイキングアップ 三、イメージトレーニング 四、ポジティブシンキング 五、効果的な技術練習法、などでした。



講演する関矢教授

メンタルトレーニングは、スポーツだけでなく、音楽、プレゼンテーションなど、いろいろな場面で役立つというものでした。最近では、ラグビーのワールドカップで注目された五郎丸選手のルーティンなどが紹介されました。

また、「よい練習とは、単純なくり返しのないくり返しであること」や「アドバイスは選手が考えてから、指導者が与えるようにする。つまり、選手が自己評価能力を高めるような指導をすること。」など競技力向上に生かされる講演となりました。（広報部）

柏崎卓球連盟の活動

柏崎卓球連盟 理事長 藤井 邦夫

本連盟は柏崎地域（柏崎市、刈羽村及び出雲崎町）における卓球の普及、発展向上を図るとともに、地域の体育文化の向上に寄与することを目的に活動しています。柏崎地域内の卓球愛好団体で本連盟の目的に賛同する団体は、加盟することができ、平成27年度は33団体、646人の方々から加盟してもらっています。

連盟の会務を円滑に実施するため、5つの部会（総務・事業・強化・普及・審判）を設け、正副部会長と部員が中心となりそれぞれの担当事業を運営していますが、運営にあたり年7回程度の理事会（正副会長はじめ正副部会長、事務局で構成）を開催し、情報の共有や課題解決に向けての検討、協議を行っています。

事業として、新潟県卓球連盟（本連盟は新潟県卓球連盟柏崎支部）や柏崎市体育協会に加盟すること、会長杯など6主催大会の開催、県卓球連盟主催大会の主管、教育委員会からの受託事業などのほか、ジュニア強化練習会、ラージボール講習会、審判講習会などを実施しています。主催大会では、一部の大会を除き原則オープン大会とし、柏崎地域以外のより多くの選手から参加してもらおうとともに、レベルの高い大会となるよう運営しています。

また、本連盟の活動趣旨にご理解いただける市内約30事業所から主催大会のプログラムへの広告掲載にご協賛をいただいています。この協賛金は、全国大会や北信越大会に出場する選手への奨励金や中学生や高校生の強化費として有効に活用させていただいており、協賛事業所の皆様に感謝申し上げます。

以上、柏崎卓球連盟の活動を紹介し、今後とも本連盟の諸活動に一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。



柏崎少年硬式野球連盟の活動

柏崎リトルシニア 会長 宮沢 透

柏崎リトルシニアは、一般財団法人日本リトルシニア中学硬式野球協会の信越連盟に所属しています。この協会は、北海道・東北・関東・信越・東海・関西・九州の7つの連盟、全国561チーム、約2万2千人の選手で構成されており、中学硬式野球では最も大きな組織です。

平成13年2月に信越連盟に正式に加入承認され、現在は選手35名、監督、コーチ4名、役員7名、リーグ審判員27名、保護者会で活動し、これまでに127名の卒団生を送ることができました。主な大会は、春季・夏季・秋季（新人）大会に分かれ、それぞれ全国大会に繋がっています。特に夏季大会の上位3チームが出場できる全国大会は、神宮球場をメインに開催され、選手たちが一番の目標にしています。高校野球でいう、夏の甲子園大会に匹敵するものです。この大会に向けて、選手たちは日々厳しい練習をしています。

今年度は、柏崎リトルシニアにとってたいへん嬉しいニュースが入りました。秋に埼玉県川口市営球場で開催された、日本女子プロ野球リーグの入団テストに、卒団生「松谷比菜乃選手（高校3年）」が見事に合格し、我がチーム第1号のプロ野球選手が誕生しました。この快挙は、チームにとって、また柏崎にとっても素晴らしい出来事であり、皆様と一緒に今後の活躍に注目し、応援していきたいと思えます。

今後も野球人である大きな夢を追い、第2、第3のプロ野球選手を目指しながら、学生の本分である学業をおろそかにすることなく、野球を通して充実した中学生生活を送れるように吉野公浩監督を中心に指導していきます。



松谷比菜乃選手

余生は楽しくグラウンド・ゴルフを

柏崎グラウンド・ゴルフ協会 会長 倉部 米治

21世紀は生涯学習の時代と言われています。中でも大きな割合を占めると言われている「スポーツ」に注目しない訳にはいきません。健康診断に訪れると必ず「健康維持の為に最近どんな運動・スポーツをやっていますか」と質問を受けることが多いと思います。そんな時、「仲間とグラウンド・ゴルフに熱中しています。」などと答えられたら楽しくありませんか。ニュースポーツとして鳥取県で開発されてから30年余が経過しています。今年度からは国体の公開競技になり、新潟県からは栃尾チームが参加し、8位に入賞する実績を達成しています。

近年、平均寿命が延びて来たことと相まって成人病の方々が多くなっています。グラウンド・ゴルフを楽しみながら一生懸命歩いてください。グラウンド・ゴルフは「どこでも」「誰とでも」「いつでも」楽しむことができるスポーツです。クラブを振ったり、歩いたりの筋肉運動の他に、プレー中の仲間との楽しい会話「うまく入らないかな!」「あの人には負けないぞ!」といったドキドキ・ワクワクする面白さ、プレー（遊戯）する楽しさがあり、毎日でも続けられるスポーツです。

現在、私達は16団体、約250名程度の会員です。仲間に入って是非活躍して下さい。



伝統と情熱で前進

柏崎ハンドボール協会 事務局長 堀 秀樹

柏崎ハンドボール協会は小さな協会です。詳しい設立日はわかっていませんが、規約に「昭和36（1961）年11月15日より施行する。」と記されており、60年近く活動している協会です。毎年12月に行われる「新潟日報杯ハンドボール選手権」は県内最大の大会で柏崎ハンドボール協会が中心となり運営しています。今年度で55回目を迎える大変歴史のある大会となっております。新潟県内で北信越や全国大会が開催される場合は、柏崎を中心とすることが多くあります。新潟県内でハンドボールが最も盛んな地域と言っても過言ではありません。

2009新潟国体の数年前からは小学生のクラブが設立され協会のメンバーが指導しています。柏崎刈羽の小学校から選手が練習に通い励んでいます。現在、中学校に部活がなく強化が遅れていることが最大の悩みですが、社会体育として活動し頑張っています。

注目選手は富山県の中学校に進学し、2015全国中学校大会優勝メンバー（男子）の窪田選手（半田小卒）がいます。また、柏崎高校から日本体育大学に進みU-22（女子）に1年生ながら選出された牧岡選手は全国、世界で活躍しています。

柏崎ハンドボール協会では市内在住者に限らず、社会人、大学生、高校生、中学生、小学生の全てのカテゴリーで選手の募集を常時しております。お気軽に声をかけてください。kashiwazakijr@gmail.com



加盟団体のPRコーナー

一年を顧みながら

柏崎市ゲートボール協会 会長代行 若月 忠二

昨年のゲートボール協会は、大変激動の年でした。長年柏崎市ゲートボール協会を背負ってこられた服部敏男会長がご逝去され、急遽新会長を選出して活動しています。

ゲートボールは日本生まれのスポーツで、昭和22年に北海道の鈴木栄治さんが、子供向けに考案されたのが始まりと言う話は余りにも有名な話です。それがたまたま高齢者に合っ、今では高齢者がやるスポーツと捉えられているのは残念な事です。頭を使いしかも体に余り負担を掛けずに運動をする。1時間700歩も歩くそうです。ご夫婦でゲートボールをやっておられる方もいて、一層夫婦仲が良くなったとか。また、ゲートボールをやっていると、多くの見知らぬ方々が、今では大会ごとに顔を合わせ、声をかけ合って親睦を深めています。

協会では、出前指導も行いますので、どうか小中学生から一般の方まで新しくやってみようか、と思われたら御一報下さい。いつでも、どこでも出掛けご指導いたします。お待ちしております。体験学習ならぬ体験ゲートボールはいかがでしょう。



より高く・より強く・より楽しく
新潟県 柏崎市体育協会
KASHIWAZAKI CITY SPORTS ASSOCIATION



〒945-0061 新潟県柏崎市栄町18-11

柏崎市武道館内

TEL・FAX 0257(22)5597

e-mail info@kashiwazaki-sports.jp

URL http://www.kashiwazaki-sports.jp

柏崎市体育協会 広報部

